

こんにちは 山田耕平 です

2017.3.16 No.265

このニュースへのご感想
ご意見をお寄せください!

杉並区善福寺 2-2-1 1

TEL 090-9973-0941

ホームページ

http://yamadakohei.jp



2017年杉並区議会第一回定例会予算特別委員会・保健福祉分野で質疑

杉並区は住民福祉の向上に全力を！

介護現場の深刻な実態を伝える報道が相次ぐ…
■朝日新聞「介護事業所過去最多ペースで62件倒産」2016年9月8日付
■東京新聞「介護事業所の倒産急増 昨年最多108件 介護報酬下げ響く」2017年2月8日付



3月9日(木)、現在開会中の杉並区議会第一回定例会・予算特別委員会の保健福祉分野で質疑に立ちました。介護保険・高齢者福祉、障害福祉サービス、保育の各分野を取り上げました。
介護保険改悪の影響は深刻 介護職員の処遇改善策を
この間、介護保険制度改悪が連続しています。特に介護報酬の引き下げによる影響は深刻で、区内の介護サービス事業者の事業撤退が相次いでいる状況です。

また、杉並区介護保険運営協議会でも、介護現場の委員から「一割減は相当痛手」等の切実な声が出されています。

区内の特養ホームでは、職員体制が圧迫され、利用者へのサービス提供に支障が出ています。質問では、介護現場の深刻な実態の把握を求めると共に、他自治体の介護職員の処遇改善策を取り上げ、杉並区でも独自に対策を実施するよう求めました。区は実態把握に努めるとしながらも、処遇改善策については明言を避けるなど、不十分な姿勢に終始しました。引き続き、介護現場の実態改善に取り組みます。

杉並区の移動支援事業の実施状況

■申請者数と承認者数(柔軟運用者数)

年度	25年度	26年度	27年度
申請者数	998人	1042人	1059人
承認者数	998人	1041人	1059人
内、柔軟運用者数	157人	172人	163人

※申請者数＝承認者数となっている。「水際作戦」のように、広く申請を受け付けていない状況。

■障害別の内訳(27年度)

利用者実数	840人
全身性障害	77人
視覚障害※	1人
知的障害	732人
精神障害	10人
高次脳機能障害	20人

※平成23年より、視覚障害者の移動支援サービスは「同行支援サービス」へ移行。

障害者の移動支援事業の拡充を

杉並区内の障害当事者の団体から障害者の移動支援事業の拡充を求める要望が多く寄せられています。

移動支援とは、移動が困難な障害者(児)が充実した日常生活を営むことができるよう、ヘルパーを派遣し、社会参加等に必要なたし時の支援を行なうものです。具体的な取扱いは、各区市町村の判断に委ねられており、地域特性や利用者ニーズに応じて柔軟に実施されるものとしています。しかし、杉並区では他自治体と比較しても利用が制限されるケースが多く、利用者のニーズに沿った対応が不十分です。さらに、障害者にも利用に大きな格差があり(右表)、障害者の社会参加を進める上で大きな課題となっています。質問では、障害別の格差の解消と利用制限を緩和するよう求めました。 ※保育分野は裏面参照

保育士が不足…党区議団の調査で発覚

区の認識と事業者の実態にズレ

この間、認可保育所の大規模整備が行なわれ、2017年4月開設に向けた最終段階となっています。新規開設園は19園にも上り（公設民営園等を除く）必要な保育士数は三〇〇名を超えています。保育士確保は最重要の課題です。

質問では新規開設園における保育士確保状況を確認したところ、区は「ほとんどの園で充足している」「ほとんどの所で100%」と答弁しました。

一方、党区議団の独自調査では、既に保育士を充足した新設園は僅かであり、ほとんどの園で保育士募集をかけていることが明らかとなっています（左表）。事業者の実態と区の認識が異なる点について質問すると「事業者から報告を受けている。信用するしかない」などと事業者任せともとれる答弁が行なわれました。

新規開園に向け、区長が調査を約束

新規開設園において、保育士が充足していないことは重大な問題であり、事業認可にも関わります。「保育の質」を確保する上でも深刻な事態です。再度、事業者の実態把握と支援を求めたところ、区長が再調査を約束。事業者への実態把握を行なうことになりました。

新規開設園の保育士募集状況 (3月7・8日時点)

数名募集	2園
2～3名募集	2園
1～2名募集	5園
若干名、募集中のみ、もう少し	6園
充足済み（募集なし）	3園

※新規開設園19園中18園を調査
多くの園で未だに保育士募集を行なっている実態が明らかになった。

区独自に保育士処遇改善を

保育士確保の第一義的責任は事業者にあります。区の政策判断のもとで保育所の大規模整備に取り組んでおり、行政の丁寧な支援が求められます。

質問では、さらなる保育士処遇改善策を求め、他自治体で取り組まれている保育士への月一万円の独自補助などを検討するよう求めました。

区は、検討すると答弁しましたが、保育士確保に向けて、速やかな対策が必要です。

育メン日誌

涙涙の卒園式

息子の卒園式と保護者行事が行なわれました。息子が5年間お世話になった保育園を卒園し、4月から小学校1年生です。

卒園式では、これまでの息子の成長を振り返り、涙が溢れました。沢山の苦労がありましたが、多くの喜びを感じた5年間でした。

お世話になった全ての方々に感謝申し上げます。

保護者行事では、父母が寸劇「桃太郎」を披露。私も戦隊ヒーローに扮し、桃太郎のお供役に。子ども達も大喜びでした。卒園しても保育園の友達を大切に、小学生生活も頑張りたいと思います。



息子も大きくなりました。

なぜ、杉並区にビーチバレーコート?

今議会において賛成多数で可決・強行

今定例会では、永福小跡地にビーチバレーコートを整備するために契約議案が上程されました。「なぜ、海もない杉並区にビーチコートなのか?」「保育園用地が足りないのに、ビーチコートは整備するのか?」等々、区民から疑問と怒りの声が寄せられています。

一方、区は計画強行に固執しており、さらに杉並区議会スポーツ振興議員連盟の要望も受けて、整備を進めるとしています。

区民の声を受け止めることなく、不要不急なビーチバレーコート整備を進めることは問題です。



杉並区永福体育館移転
改築建築工事における
ビーチバレーコートの
イメージ図(左)
計画を推進したスポー
ツ振興議員連盟の責任
も厳しく問われる。